

KRC WEB REPORT

徒然想

ホットコーヒーの美味しい季節です。私のお気に入りにはカリブ海の島国ハイチのコーヒー豆。ハイチの森林にある山村で、同じ畑にバナナやマンゴーにカカオなども植えられ、すべて手作業で栽培されているカフェ・クレオール。ブルーマウンテンと同等レベルの豆なのですが、ハイチの青い森を思いながらの熱い一杯は、格別な味わいがある気がします。かくいう私は、ぬるい缶コーヒーを飲みながら原稿を書いておりますが、皆様おいしいコーヒーなど片手に本レポートをご覧いただければ幸いです。

TECHNICAL TOPICS 今月の技術情報

国際学会「34th Asian Conference on Remote Sensing」への参加報告 (クリエイティブ事業部 木本啓介)

2013年10月20日～24日の5日間、インドネシアのリゾート地、バリにて34th Asian Conference on Remote Sensing 2013(第34回アジアリモートセンシング会議)が開催されました。ACRSは、“BRIDGING SUSTAINABLE ASIA(持続可能なアジアのつながり)”をテーマに掲げている国際学会です。科学・教育・自然・文化の各分野においてリモートセンシング技術を活用して、世界に貢献することを目的としています。

弊社は、芝浦工業大学の中川雅史准教授がチェアマンを務めるセッション“3D indoor modeling and navigation”において“Augmented Reality Applications In The World Heritage Iwami Ginzan Silver Mine”を発表しました。内容は、「世界遺産石見銀山におけるARの活用」で、本レポートNo.116(→[関連ページへリンク](#))でも紹介したものに、GPSを用いたARについても紹介しました。発表後の質疑応答では、拙い英語ながら身振り手振りを交えて説明させていただきました。本会議における他の発表とは若干異なる技術を紹介いたしました。写真のように実際にiPadを動かしながらARを表示することができ、多くの方に興味を持っていただけたと感じました。



オープニングセレモニーの様子



発表の様子



iPadを動かしてARを表示

その他、私が展示ブースで特に興味深かったものは、写真から3Dモデルを構築する技術です。衛星画像や航空写真などを利用して地形を3D化する技術の紹介が多かったのですが、身近な建造物を数枚の写真から簡単に3D化するソフトなども展示してありました。この技術に関しては、本レポートNo.127(→[関連ページへのリンク](#))でもご紹介したように、弊社でも橋梁などのインフラ建造物の維持管理への適用など、多視点画像から3Dモデルを作成することにチャレンジしています。HPもあわせてご覧ください。<http://www.krcnet.co.jp/topics/topics67.html>

(株)計測リサーチコンサルタントへのお問い合わせ先: krc@krcnet.co.jp HP: <http://www.krcnet.co.jp/contact/contact.htm>